

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	神経性やせ症における行動療法の治療効果の神経生理学的評価 —食物・身体関連刺激に対する事象関連電位（ERP）を用いた検討— （後方視的診療記録研究）
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2021年 7月1日から 2026 年 6月 30 日までの間に、新潟大学医歯学総合病院精神科において神経性やせ症の診断で入院治療を受けた患者さんを対象としています。
③ 概要（※研究の概要ではなく、研究対象者が同意・不同意するための判断材料として必要な情報を概要として記載してください。）	本研究では、神経性やせ症の患者さんの背景や入院時の状況と、治療経過や予後との関連を調べます。得られた結果は、事象関連電位（ERP）を用いた研究の背景資料として活用します。 通常診療の中で既に取得されている診療記録（カルテ）、退院サマリーなどの情報を用いて解析を行います。そのため、本研究のために新たな検査や診察をお願いすることはありません。 本研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、対象者のプライバシーや人権が守られるように細心の注意を払って実施されます。もしも、本研究でご自身の情報やデータを利用してほしくない場合は、下記の問合せ先にご連絡ください。その場合でも、通常の診療において不利益を受けることは一切ありません。
④ 申請番号	2026-0083
⑤ 研究の目的・意義	神経性やせ症は病態の個人差が大きく、患者さんの背景や併存疾患が治療経過や治療効果に影響を及ぼすことが知られています。また、治療法の一つである入院下で実施される行動療法は、施設によって内容や運用が異なるため、各施設における治療成績を患者さんの背景と併せて検討することは重要です。 本研究では、新潟大学医歯学総合病院精神科における、神経性やせ症入院患者さんの診療記録を後方視的に解析し、患者さんの背景と治療経過・予後との関連を明らかにします。これにより、ERPを用いた前向き研究で得られる神経生理学的指標を臨床的背景と関連づけて解釈するための基礎資料を得ることを目指します。
⑥ 研究期間	倫理審査委員会承認日から 2030年3月31日まで
⑦ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	本研究では、診療記録（カルテ）、退院サマリーなどの既存診療情報を利用します。取得した情報は、氏名や患者 ID などの個人を特定できる情報を削除し、研究用番号に置き換えたくて解析を行います。 解析は新潟大学において実施されますが、個人が特定できる情報が外部に提供されることはありません。
⑧ 利用または提供する情報の項目	年齢、性別、罹患期間、併存疾患 入院時体重・BMI、治療内容、行動療法実施の有無、逸脱行動の有無 入院期間（日数）、退院時体重・BMI、体重変化量、体重増加率 予後
⑨ 利用する者の範囲	新潟大学大学院医歯保健学研究科精神医学分野 研究責任者：江川 純

⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院医歯保健学研究科精神医学分野 准教授 江川 純
⑪ お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学大学院医歯保健学研究科精神医学分野 氏名：江川 純 Tel：025-227-2213 E-mail：jeg5414@med.niigata-u.ac.jp